

滿洲事變と國際聯盟

本文は米國外交協會長ブニレルカジヤパン、アドツアタイサーに投稿せるものなり

今次の滿洲事變を文明國家相互の紛争と觀するは大なる誤謬なり 支那は統一國家にあらざるに日本は強大なる統制國家なるに想到せざるへからず 國際聯盟は戦争防止のみに汲々たるも統制の亂れたる國家に對しては兵力干涉の必要あるを認識せざるに似たり

ハイチ及埃及等の國家に對し先進國家が兵力干涉に出つは已むを得ざる事ならずや 實に如斯ことは戦争にあらすして干涉に過ぎざることを知悉するを要す

國際聯盟が日本を壓迫するの手段として經濟封鎖は有效なる觀あるも聯盟加入國の全部かこれに贊同するとは信し難きのみならず米國は列下の經濟不況に鑑みこれに反對するは明瞭なるを以て經濟封鎖は却つて聯盟の解體を齎らすに終るへし

聯盟は大國に對しては有效なる措置をなし得ざることを過去に於て幾度か

0169

暴露せり

一九二七年英米艦隊の南京攻撃

一九二六年米軍のハイチ遠征

一九二五年佛軍のパマカス爆撃及一九二

七年日本軍の山東出兵等の際聯盟は何等な所をかりしにあらずや

聯盟か今次の滿洲事變に衝突なる干渉をなすは聯盟自からの機構を壊すに

止まるべし、聯盟は宜しく長時日に亘り穩健なる忠告を紛争兩國に呈し

事態の悪化を防ぐるに孜むるを上乘とす

これと共に聯盟は米國の協力を得て支那の政情の安定並支那の資源開發に

努力し今次事變類似の事件發生豫防に精進するの要穴なり